

●早めに相談することが大事です



①今後の生活を考え、話し合う時間ができる

早期に受診・診断することで、症状が進む前に本人や家族が認知症を知り、どのように暮らしたいか、どのような工夫をする
と良いかを、本人と一緒に考える時間が持てます。

(生活の工夫、サービス利用、在宅や施設、財産や後見人制度など)

②認知症の症状を起こす病気の治療が可能な場合がある

認知機能低下を引き起こす病気には、早めに治療すれば改善が可能な
ものもあります。

(正常圧水頭症、慢性硬膜下血種、脳腫瘍、甲状腺機能低下症、アルコール中毒、ビタミン欠乏症など)



③進行を遅らせることが可能な場合がある

例えば、アルツハイマー型認知症は早い段階からの服薬治療などにより、
症状の進行がゆるやかになる可能性があります。



コラム① 認知機能の低下を抑えるために

生活習慣に気をつけることは、生活習慣病（高血圧症、脂質異常症、糖尿病、
心臓病など）の予防とともに認知機能の維持にもつながります。

